

◎次期「住吉区地域福祉ビジョン」に新たに加えるべき課題

<p>【新たに加えるべき課題】 単身世帯とのつながりをどう構築していくか。</p>
<p>【目指すべき姿】 周りに住む人たちと日常のあいさつができるご近所関係を作る。</p>
<p>【理由】 声かけ見守りの対象外にあたる高齢でもない、障がいもない人で、男性の単身者に孤独死に至る人が地域に増えている。</p>

<p>【新たに加えるべき課題】 差別・排除のない共生社会に向けた啓発</p>
<p>【目指すべき姿】 地域の中で、高齢者、障がい者、貧困、外国人、LGBTQ等、多様性をみとめあい、誰もが排除されない地域創造を目指す。</p>
<p>【理由】 障がい分野の立場からではありますが、今でも障がいがあることでの入店、入居拒否はあり、「障がい児者差別への啓発」という課題でもよかったのですが、障がい分野は高齢や児童と比べて課題が見えにくいのが前提にあります。そのため、現在のビジョンでも地域のコミュニティづくりやつながりづくりを目指していることも踏まえ、障がい者児だけでなく、誰もが差別・排除のない地域づくりをビジョンに取り入れていくことを具体的な施策として入れていくのはいかがでしょうかと考えます。 ※昨年度、国連障害者権利委員会から精神科病院の無期限入院、施設入所、インクルーシブ教育についても勧告、懸念等の総括所見が出されています。こちらは国レベルのものではありますが、少なからず地域の中で障がいのある人との分離、排除が背景にあると考えます。</p>